

「ふるさと」への思い強く 活気あるまち目指して

「ふるさと住民票」ふるさと交流会



まちへの思いと親睦を深める

町では、まちにゆかりのある人に町の情報を提供し、つながりを深めてもらうため、今年から「ふるさと住民票」制度を行っています。11月20日には、制度開始から1年を迎えるのを前に、ふるさと住民票登録者と町関係者との交流会を開きました。当日は、住民票登録者10人が来町し、同日開催の、生きいき「ひの」ふ

れあいまつりや新そばまつりなどに参加。また、金持神社やオシドリ観察など、町内めぐりも行い、ふるさとの懐かしい情景を楽しみました。町交流センター・リバーサイドひので行われた交流会では、ふるさと住民票登録者が100人を突破したことを記念し、100人目となる指画家の濱田珠鳳さん（根雨出身・米子市在住）へふるさと住民票を交付するセレモニーを行いました。濱田さんは、3歳から20歳まで日野町で育ち、いろいろな経験をすることが今の



100番目となる交付カードを受け取る濱田さん（左）

私の出発点。心の奥深くにある、ふるさとを思う気持ちをいつまでも大切にしたい」と喜びを語りました。また、参加者が自己紹介をしながら、それぞれの日野町の思い出話を花を咲かせました。松田奈穂子さん（黒坂出身・米子市在住）は、「住民票登録のきっかけは、日野町の自然が大好きだったから」と話し、「子どもとたびたび日野川に来て川遊びをさせるなど、自然を生かし元気に育てています。こうした機会を利用して少しでも日野町に貢献していきたい」と笑顔で語りました。色あせることのない思い出。それぞれがふるさとへの思いをより強くした一日となりました。

また、参加者が自己紹介をしながら、それぞれの日野町の思い出話を花を咲かせました。松田奈穂子さん（黒坂出身・米子市在住）は、「住民票登録のきっかけは、日野町の自然が大好きだったから」と話し、「子どもとたびたび日野川に来て川遊びをさせるなど、自然を生かし元気に育てています。こうした機会を利用して少しでも日野町に貢献していきたい」と笑顔で語りました。色あせることのない思い出。それぞれがふるさとへの思いをより強くした一日となりました。

帰省・同窓会の際に 「ふるさと住民票」のPRを！

お友達・ご親戚に紹介ください！



PR用チラシ・登録申込書をご利用ください

町では、まちにゆかりのある、町外在住の皆さんにまちの情報や各種サービスを提供し、まちづくりに参加いただくことにより、まちとのつながりをより深める「ふるさと住民票」制度を創設しました。より多くの皆さんに制度を利用いただくため、PR用チラシ・登録申込書を発行しています。多くの日野町出身者が集まる機会に配布したいと思いますので、**帰省や同窓会などの予定がありましたら、役場企画政策課までご連絡ください。**必要部数を準備いたします。まちにゆかりある皆さんとのまちづくりにご協力をお願いします。

【登録申込み・連絡先】 役場企画政策課（電話 72-0332、FAX72-1484）

Email : kikaku@town.hino.tottori.jp

日野町ウェブサイト・ふるさと住民票のページ

【<http://www.town.hino.tottori.jp/2585.htm>】

チラシ裏面は登録申込書になっています



地域のスポーツ振興に尽力

松本豊文さんがスポーツ推進員功労者表彰を受賞



受賞を喜ぶ松本さん（中央）

11月17日と18日に、福井県で開催された第57回全国スポーツ推進員研究協議会で、全国スポーツ推進員連合表彰が行われ、松本豊文さん（門谷）が、スポーツ推進員功労者表彰を受賞しました。

これは、スポーツ推進員として地域のスポーツ振興に功績のあった人に贈られるものです。松本さんは長年にわたり地域のスポーツ行事などに積極的に参加し、さまざまなスポーツの振興に携わってきました。松本さんは「地域のために引き続き尽力していきたい」と抱負を語りました。

みんなで住みよい地域づくり

金持自治会が清掃活動



空き缶などたくさんのゴミを拾いました

10月16日、金持自治会住民が、地域の清掃活動を行いました。この清掃活動は、国道や町道周辺のゴミなどを拾い、清潔で住みやすい地域にしようとする3回行っています。

当日は、金持地内で工事を行っていた、有限会社浜本組（江府町）の皆さんも清掃活動に参加。地域住民と一緒に気持ち良い汗を流しました。

また、同日の午後には、同自治会の金持長寿会の会員らが、金持神社の鳥居に取り付けるしめ縄づくりを行いました。完成したしめ縄は早速取り付けられ、参拝者を迎えていました。

“感謝の気持ちを込めて” 長寿のお祝い

黒坂・菅福地区「手づくり」の敬老会



長寿を祝う舞に目を奪われる出席者

10月9日、黒坂小学校で、黒坂地区コミュニティ推進協議会（中原明会長）主催の手づくりの敬老会が開かれました。

当日は、黒坂・菅福地区の75歳以上の高齢者64人が出席。長寿と健康を祝い、鳥取荒神神楽研究会による恵比須・大黒様の舞の披露や、カラオケ大会などが行われました。

また、長年地域を支えてもらった感謝の気持ちを込め、弁当が振る舞われ、出席者は普段は会えない人との会話など、楽しいひとときを過ごしました。

ふるさとのことば

～日野弁なんずかんず～ 第41回

「まい」「まむない」

日野弁で「まい」とは、「おいしい」という意味です。「うまい」の「う」音の脱落でしよう。

一方、「おいしくない」は、「まむない」。語源ははっきりしませんが、同様に「うまみ無い」から「う」が脱落した「まむない」が変化したのかもかもしれません。

このように、言葉は時の流れと共にさまざまに変化するもの。方言のように、「辞書には載らない言葉」の面白さはここにもあります。

日野弁ピックアップ「ま」

まえる…（水を加えて）湯温を下げる。
まかせ…状況/様子/やり方。 まくれる…転ぶ/転倒する。 まぐる…ビー玉。 まちあう…適合する/儲けになる。 まちどころ…心待ちにすること「帰省をーでいる。」 まちぶ…まち/農村部に対する町域をさげ。 まぶる…塗りつける/まぶす。
まめな…よく働く/元気な。 まん…運/げん/つき。 まんちゃら…いんちき/ごまかすこと。

協力：日野町歴史民俗資料館友の会